

対象地域：大阪府

再生課題：里山の再生



こ う の や ま
神 於 山 保 全 活 用 推 進 協 議 会

**再生
目標**

身近な自然である神於山の自然再生と今日の里山のあり方を考え、自然環境の大切さを見つめ直すことにより、自然の再生を目指す。



神於山は、植物生態学的にはシイを中心とする暖帯常緑広葉樹林帯に属していますが、伐採、下草刈りなどの人為的な関わりを受けながら植生が変化してきました。

山麓部は果樹園として開墾されましたが、その多くは廃園になり、跡地はクズなどに覆われるとともに、竹林が山麓部はもとより山頂部付近にまで拡大しました。

そこで本協議会として、「森・川・海のつながり」、「人と自然・人と人とのつながり」、「里山とまちとのつながり」を理念とし、長期的（100年後）な目標として「里山の再生」を掲げ、地元団体やNPO、企業など多様な主体の連携のもと自然再生を図っています。

- 事務局
大阪府岸和田市
- 対象地域
大阪府岸和田市神於山
(市道福田内畑線と府道岸和田港塔原線によって区切られた面積約180haの範囲)
- 協議会 : H16. 5. 25 設立
- 全体構想 : H16. 10. 21 策定
- 実施計画 : H17. 6. 1 策定
(R7. 3現在)

自然再生の手法

- 竹林の拡大防止
- 竹林の適切な管理
- タケの利活用の推進



神於山遠景



藤尾池から望む冬の里山



ナルトサワギクの駆除